

17 その他の主な公共施設

日本万国博覧会記念公園

位 置 千里万博公園

概 要 昭和45年(1970年)に「人類の進歩と調和」を主題として開催された日本万国博覧会の成功を記念するため、その跡地を「緑に包まれた文化公園」として、整備・運営している。

面 積 2,587,770㎡

万博記念公園内の施設

1 自然文化園地区等

施 設 名	内 容
自然文化園 昭和54年(1979年) 4月1日全面公開	全面積 985,000㎡、芝生面積 265,000㎡ 樹 木 約511千本 施設内容 ソラード(森の空中観察路)、自然観察学習館、EXPO'70パビリオン、お祭り広場、緑地広場、世界の森、万博おもしろ自転車広場、遊具(やったねの木、わくわく池の冒険ひろば、エキスポみらいgo!)、バーベキューコーナー、休憩所、夢の池サイクルポート、レストラン、売店ほか
茶室「汎庵・万里庵」 昭和47年(1972年) 4月1日公開	汎 庵 216㎡ 木造1階建 万 里 庵 35㎡ 木造1階建
茶室「千里庵」 昭和48年(1973年) 9月1日公開	千 里 庵 389㎡ 鉄骨造1階建 立礼席 30席
迎 賓 館 昭和48年(1973年) 9月1日公開	各種の会合、展示会等の会場として公開 敷地面積 9,550㎡、延べ床面積 2,154㎡ 構 造 鉄筋コンクリート造2階建一部中2階
大阪日本民芸館 昭和47年(1972年) 3月15日公開	実生活に密着する新古の民芸品及び個人作家の現代新作品を展示 敷地面積 3,070㎡、延べ床面積 2,206㎡ 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造1階建一部2階
EXPO'70パビリオン 平成22年(2010年) 3月13日公開	日本万国博覧会開催当時のパビリオンであった鉄鋼館を博覧会の記念館として改修し、博覧会に関する様々な情報を展示公開 敷地面積 3,641㎡ 構 造 鉄筋コンクリート造2階建 ホワイエ 床面積:915㎡ 展示場 床面積:1,078㎡ 多目的室 床面積:58㎡
自然観察学習館 昭和60年(1985年) 3月15日公開 平成9年(1997年) 4月27日新館公開	公園の豊かな緑とのふれあいの中で、自然のおもしろさや大切さを知り、また、自然の素材を使って工作等を楽しむことができる施設 建築面積 682㎡ 鉄筋コンクリート造1階建 (展示室、実習室、貸出展示設備)

施設名	内 容
自然学習の森 平成2年(1990年) 3月25日公開	人と自然のかかわりを、視、聴、嗅、味、触の五感で体験しながら、自然の大切さや楽しさを学習する場 生産の森(栽培園・果樹園) 4,000㎡ 観察の森 6,000㎡ 花の丘 20,000㎡
ソラード (森の空中観察路) 平成12年(2000年) 5月20日公開	造成から30年を経て豊かに成長した森の表情を平面からだけではなく立体的に観察することにより、新たな森の魅力を発見することを目的に整備した施設 空中観察路:延長約300m 幅1.2m 高さ3~10m 展望タワー:高さ19m
生活誕生館DILIPA 平成3年(1991年) 11月2日公開	エネルギーと暮らしに関する情報発信拠点として、住宅設備関連機器を実際に体験・体感しながら楽しく学習できるとともに、立体映像のシミュレーションシステムなど、最新の機器により、住まいづくりや快適な生活空間を提案する施設として公開 建築面積 3,519㎡、延べ床面積 5,717㎡ 構造 鉄骨造2階建
夢の池サイクルポート 昭和58年(1983年) 8月14日公開	池面積 24,500㎡ サイクルポート 6種 36艘
バーベキューコーナー 平成14年(2002年) 7月1日公開	敷地面積 730㎡ 建築面積 347.25㎡(鉄骨造、平屋) 10人掛けテーブル 22基 水道・ごみ捨て場完備
万博おもしろ自転車広場 平成17年(2005年) 3月13日公開	敷地面積 4,750㎡(一般コース、幼児コース、2輪車コース) 変り種自転車 約50種 120台

2 スポーツ地区

施設名	内 容
少年球技場 昭和49年(1974年) 7月13日公開	フィールド面積 5,096㎡(芝張) コート サッカー 78m×45m、ラグビー 95m×45m 練習コート 2,840㎡(芝張)
弓道場 昭和51年(1976年) 5月1日公開	建築面積 583㎡ 射 場 494㎡ 渡り廊下 52㎡ 看的 所 15㎡ 的 場 22㎡
少年野球場 昭和48年(1973年) 5月20日公開	両 翼 61m スタンド 1,500人収容

施設名	内 容
万博記念競技場 昭和49年(1974年) 7月13日公開 " 62年(1987年) 4月1日再公開	(第1種公認陸上競技場) トラック 400m 8コース(全天候型) フィールド 天然芝 69.9m×106.4m 三段跳4か所、走幅跳8か所、棒高跳7か所、 走高跳2か所、砲丸投げ3か所、やり投げ2か所、 円盤・ハンマー投げ2か所 スタンド 21,000人収容
小運動場 昭和55年(1980年) 4月1日公開	施設規模 4,538㎡
野球場 昭和49年(1974年) 7月13日公開	両翼 90m スコアボード 磁気反転式 センター 120m スタンド 7,700人収容
アメリカンフットボール 球技場 平成18年(2006年) 6月24日公開	アメリカンフットボール場 1面 又はサッカー・ラグビー スタンド 3,000人収容 (メインスタンド 1,500人、バックスタンド1,500人)
スポーツ広場 昭和47年(1972年) 7月1日公開	軟式野球場 4面 両翼90m、ソフトボール場1面 両翼70m
総合スポーツ広場 No. 6 平成19年(2007年) 4月14日公開	万博・大阪サッカーグラウンド サッカー場 1面 105m×68m
総合スポーツ広場 No. 7 平成17年(2005年) 4月29日公開	ソフトボール場1面 両翼70m 又は運動会等
パークゴルフ万博公園 平成16年(2004年) 10月2日公開	18ホール パー66 距離948m テントハウス 100㎡ クラブハウス 鉄骨造111.79㎡ 飲食施設あり
テニスコート 昭和48年(1973年) 10月1日公開 平成9年(1997年) 12月1日 屋内コート公開	コート(屋外) 35面(ハードコート6面(夜間照明設備有り)、 人工芝4面(夜間照明設備有り)、アンツーカー コート22面、練習コート3面 コート(屋内) 人工芝 4面
フットサルコート 平成14年(2002年) 2月1日公開	コート 人工芝 4面 41m×21m 夜間照明 16基 フットサルハウス 鉄筋コンクリート造1階建 300㎡

日本庭園

概要	日本万国博覧会政府出展施設として、日本の造園技術の粋を集めて造った庭園で、上代、中世、近世及び未来に引き継がれる現代の造園様式を示している。
施設規模	全面積 260,000㎡、 芝生面積 47,600㎡ 樹木 123種 約117千本 草花 50種 約222千株
公開	昭和46年(1971年)9月1日
施設内容	池 3か所(心字池、こい池、はす池)、茶室、休憩所及び管理棟、園芸植物展示場

国立民族学博物館

位置	千里万博公園10番1号
目的	文化人類学・民族学に関する調査・研究を行うとともに、民族資料の収集・整理・公開などの活動を進め、世界の諸民族の社会と文化に関する情報を人々に提供し、諸民族についての認識と理解を深めることを目的として設置。
敷地面積	40,821㎡ 建築面積 17,089㎡ 延べ床面積 51,225㎡
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建 展示場、休憩ロビー、図書室、セミナー室、収蔵庫、レストラン、事務室、研究室等
開館	昭和52年(1977年)11月17日
特徴	展示品数約11,000点、地域展示(オセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、西アジア、南アジア、東南アジア、中央・北アジア、東アジア)、通文化展示(言語、音楽)、インフォメーション・ゾーン(イントロダクション、ビデオトーク、探究ひろば)、特別展示、企画展示、みんぱくゼミナール(参加無料:毎月第3土曜日)、みんぱくウィークエンド・サロン(毎週日曜日)、研究公演、みんぱく映画会
利用時間	10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日	毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日休館)、年末年始12月28日~1月4日